

■ 自然人 (しぜんびと)

■ 自然の中でがんばっている人たちを紹介します

このコーナーでは自然活動がんばっている若い方にスポットをあて、自然の魅力や活動、目標などを紹介していただきます。



今回は、「国立沖縄青少年交流の家」
企画指導担当及びボランティアコーディネーターの
上條弥生さん(べす)です。

「国立沖縄青少年
交流の家」
ここです!



子供の頃から水泳をしてきた私にとって、高い透明度に色とりどりの熱帯魚や海亀が泳いでいる渡嘉敷島の海はとても魅力的なフィールドです。ナイトダイビングでは40分ほど先を照らす月明かりに浮かぶ魚たちと泳いだこともあります。「この島は素晴らしい」、私がここに住みたいと思ったきっかけです。

国立沖縄青少年交流の家では青少年を対象とした様々な海洋体験活動の支援を行っており、プログラムは大型カヌーや体験スノーケリング等があります。また、渡嘉敷島の雄大な自然は私たちにとって大きな恵みであり、「無人島アドベンチャーキャンプ」では電気と水道のありがたさを、不登校児童生徒を対象にした「いきいき自然体験キャンプ」では仲間との関わり・つながりを自然に実感することができます。



私はこの仕事に携わり、今年でちょうど10年になりますが、ここでたくさんの輝く笑顔に出逢ってきました。素晴らしい自然があり、仲間との関わりの中で新しい自分に出逢える、そんな瞬間に立ち合えるこの仕事が大好きです。

「いちやりばちよーでー(沖縄の言葉で、一度出逢えば皆兄弟)」を感じる、あたたかい沖縄で出逢う子供たちに、これからも新たな発見やわくわくするような楽しさを得られる体験や感動を伝えていきたい。

★国立沖縄青少年交流の家★ <http://okinawa.niye.go.jp/>

■ ようこそ! ビジターセンターへ

■ 裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

第11回 学生研究発表会を開催しました!

3月16日(水)に第11回学生研究発表会を開催しました。口頭発表、ポスターセッション合わせて13名の学生に渾身の研究成果を発表していただき、30名以上の聴講者が熱心に耳を傾けていました。



磐梯山周辺をフィールドに研究・調査を行っている学生が、成果を存分にアピールする姿が印象的でした。また、聴講者は住まいの地域のことをより深く知ることができ、積極的に質問や意見を投げかける姿も見られました。発表学生、聴講者ともに新たな発見があった発表会だったのではないかと思います。

